

DISCLOSURE 2026.6

2026年度第1四半期(2026年4月1日～6月30日)における経営情報を開示します

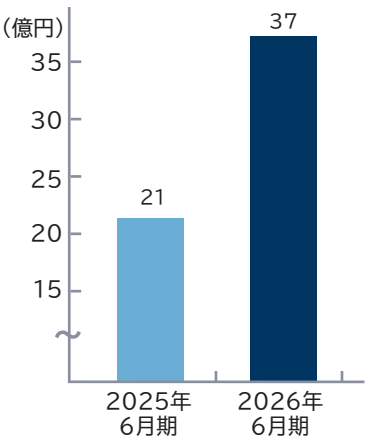
(注)この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数については、会計監査人による監査を受けていません。数値は原則単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとの合計の数値が一致しない場合があります。なお本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

西武信用金庫

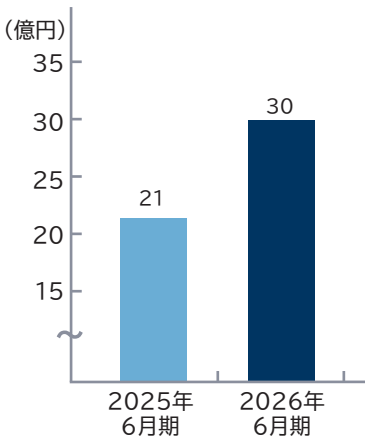
損益の状況

コア業務純益は37億円、経常利益は30億円、当期純利益は18億円を計上し、堅調に推移しました。

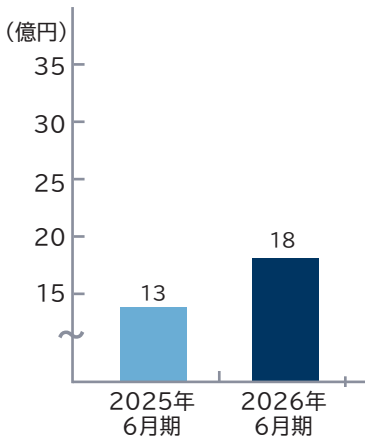
●コア業務純益 37億円



●経常利益 30億円



●当期純利益 18億円



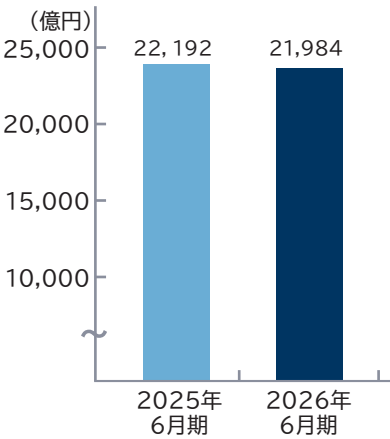
(単位:億円)

	2025年6月期	2026年6月期	前年同期比
コア業務純益	21	37	+15
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	21	37	+15
経常利益	21	30	+8
当期純利益	13	18	+5

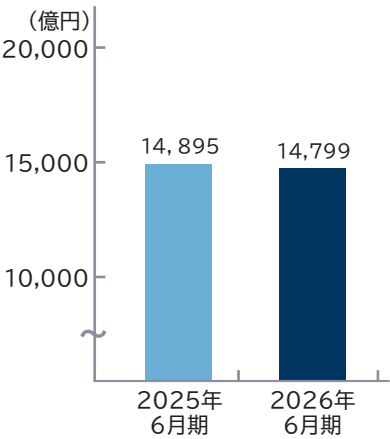
預金・貸出金の状況

預金残高は、前年同期比で207億円減少し、2兆1,984億円となりました。貸出金残高は、前年同期比で95億円減少し、1兆4,799億円となりました。

●預金残高 2兆1,984億円



●貸出金残高 1兆4,799億円

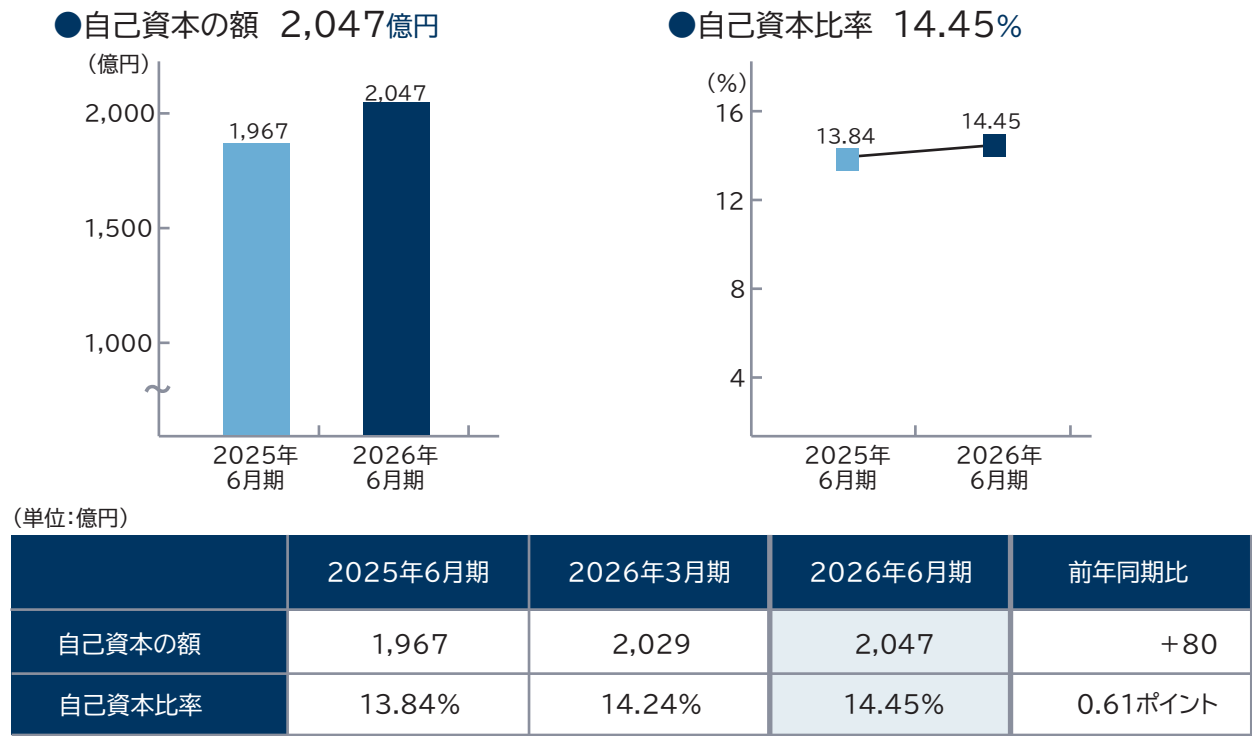


(単位:億円)

	2025年6月期	2026年3月期	2026年6月期	前年同期比
預金残高	22,192	21,914	21,984	△207
貸出金残高	14,895	14,815	14,799	△95
預貸率	67.11%	67.60%	67.31%	+0.20ポイント

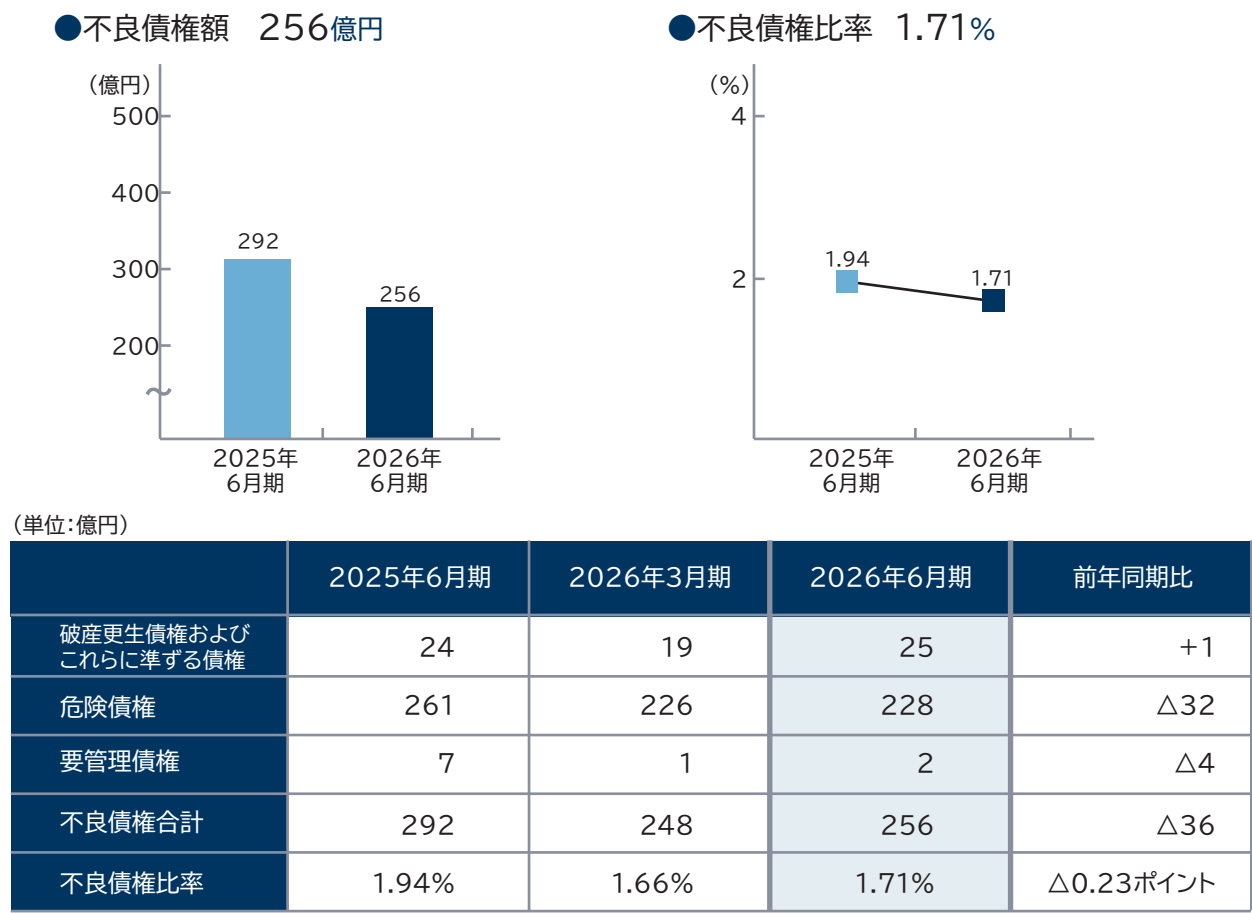
自己資本の状況 (国内基準)

自己資本の額は、利益等の積み上げにより前年同期比で80億円増加し2,047億円となりました。自己資本比率は、前年同期比で0.61ポイント増加し14.45%と金融機関の健全性を示す国内基準4%を大きく上回っています。



不良債権の状況 (金融再生法開示債権)

不良債権残高は256億円となり、不良債権比率は1.71%と低水準を保っています。



有価証券の評価損益

有価証券の評価損益は、前年同期比で89億円増加しました。

(単位:億円)

	2025年6月期		2026年3月期		2026年6月期		前年同期比	
	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益
株式	112	62	164	113	171	119	58	57
債券	89	△0	96	△1	130	△0	41	△0
その他	1,177	22	1,076	39	1,066	55	△111	32
合計	1,379	84	1,337	151	1,368	174	△11	89

(注)その他＝投資信託・優先出資証券・外国証券・買入金銭債権